

地域少子化対策強化事業実施計画書（市町分）

市 町 名	木曾岬町
事 業 名	ヒューマン・トータル・ライフサポート事業
事業の趣旨・目的	当町では年々出生数が減少しており、少子化は大きな課題の一つである。そのため、結婚から妊娠・出産・育児まで世代の人々を総合的にサポートしていく必要がある。
実 施 期 間	交付決定後 ～ 平成27年3月31日
所 要 見 込 額	160,000 円
地域の実情と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・当町の人口6,500人に対し、年間出生数は30名と減少しており、少子化は大きな課題である。 ・教育部門と連携した新たな思春期ライフプラン教育をはじめ、妊娠中の女性への健康教育の充実が重要である。 ・妊娠中の重度の歯周病は胎児の成長に大きな影響を及ぼし、早産や低出生体重児産のリスクが高まるため妊婦歯科検診を実施する必要がある。また、産後は乳児を連れての受診は困難であり、受診しやすい場所の提供が必要。 ・乳児を持つ母親は子育てサロン（子育て支援センター）の利用もまだ少なく、孤立しやすいことから交流の場の提供が必要。 ・乳児の死亡の一つに「揺さぶられ症候群」があげられ、その予防には教育が重要である。 ・子育て中は自分たちのための時間を持つことが難しいため、いこいの場やリフレッシュするための時間提供により子育て世代の心身の健康増進を図ることが重要である。
事 業 内 容	<p>1 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を行うための仕組みの構築 少子化対策県民運動等推進事業（県事業） 結婚したい人が結婚でき、子どもを産みたい人が安心して産み育てられる地域社会づくりをめざして、多様な主体の参画を得ながら少子化対策に関する県民運動を展開</p> <p>2 結婚に向けた情報提供等（新規） ○教育総合実践推進事業...産婦人科医による性、妊娠、出産等に関する講義を実施（2回） 対象：中学生 64名（3年生）、保護者156名 年2回 中学生を対象に男女共同参画、人生設計、医学的な妊娠出産など性教育の正しい知識を発信し、ライフプラン教育に関する先進的な情報を得るための学習会を実施するという先駆的な事業である。</p> <p>3 妊娠・出産に関する情報提供 妊娠出産前サポート事業（県事業） 妊娠・出産に関する相談体制づくりや医学的な知識に関する普及啓発を図る。</p> <p>4 結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備 健やか親子支援事業（県事業） 出産前後の妊産婦の支援の強化のため、医療機関を含めた周産期からの関係機関のネットワーク構築事業を行う。</p>
事 業 の 効 果	○教育総合実践推進事業 思春期において正しい知識を習得することにより結婚・出産に対して適切なライフプランニングができるようになる。
都 道 府 県 と の 連 携 方 法	町独自事業と合わせ県実施事業とも相互連携を図りながら結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」を展開していきます。